

【学校教育目標】

人や自然に愛される子
自ら考え、自ら学ぶ子
苦しさに耐えうる心と体をもつ子

<地域との関わり>

- ・地域の方と取り組む行事「家難祓」
- ・ふるさとの山「御座山」「三滝山」登山
- ・昔からの冬の運動「田んぼリンク」

【目指す子どもの姿】

- (1) 自分に問いかけることで、自分で気づき、考え、行動できる子ども
- (2) 人やもの・自然と関わり合いながら、互いを尊重し合える子ども
- (3) 失敗を怖がらず、物事に取り組めるたくましい子ども
- (4) よく遊び、気持ちよく歌える子ども

【今年度重点目標】

- 3つの柱をたてて具体的に取り組む。
- ① <学力の向上>授業の充実・思考力・基礎学力
 - ② <コミュニケーション力の向上>みんなで仲良く交流
 - ③ <体力向上>運動・健康な体作り・食育
- 合言葉「**かしこく なかよく 元気な子**」

重

点

活

動

【学力向上】

- 基礎学力・読解力の向上
 - ・「北相木小スタイルの読解力」小規模校&花まる学習導入を生かした学力向上プログラム
 - ・NRT&CRT調査により個々の学習の課題をサポート
- 授業の充実（授業改善）
 - ・「できた！わかった！」を実感できる授業作り⇒「学びの力」を育む
- 花まる学習会との連携
 - ・花まるタイム（15分×週2）
 - ・花まるモジュール（10分×週3）
 - ・西郡プロデュース花まる学習 ⇒「学びの土壌」を育む

【コミュニケーション力向上】

- 《具体的活動》
- 明るいあいさつに包まれた学校
 - ・顔を見て、名前を言ってあいさつ
 - ・教師自らも、あいさつ
 - ・学期の始まりにあいさつのお話
 - ・各学級でのあいさつの指導
 - ・児童会あいさつ当番による活動
- 交流活動
 - ・山村留学生との交流
 - ・南相木小学校との交流
 - ・地域の皆さんとの交流
 - ・保育園との交流
 - ・縦割活動での他学年との交流
 - ・全校児童参加の児童会活動
- 歌声の響き合う学校
 - ・気持ちよく歌い、一日がスタートできるように朝の歌の位置づけ
 - ・みんなの前で、歌ったり、マイクなしで発表したりする機会をつくる。

【体力向上】

- 《具体的活動》
- 【運動】
 - ・リジナルストレッチ体操（3種）の継続
 - ・朝から脳を活性化させる朝体育
 - ・走・投・跳・踊・ほぐす 全校体育
 - ・室内プールで思いっきり泳ぐ水泳学習
 - ・地域密着型田んぼリンクでのスタート学習
- 【保健】
 - ・ピカピカ・むし歯ゼロ活動（フッ素洗口・歯磨き）
 - ・視力向上、パッチリ目の体操の継続
 - ・見て触れて感じる掲示物の充実
- 【食育】
 - ・残食ゼロの継続
 - ・栄養バランスの良い献立
 - ・体格を考慮した給食の量
 - ・わくわくする給食
 - ・地産地消・教育活動とコラボ
 - ・希望献立

北相木小学校の教育活動の土台【自問教育】

心の中の三つの玉を磨く自問教育を学校生活全般で行う。（自問清掃を中心とする）

- ・がまん玉・・・意志力を高め、自由の意味を知る。
- ・しんせつ玉・・・協調の精神を学ぶ。
- ・みつけ玉・・・創造力を発揮して取り組む。

※黙想で心を落ち着かせよう。
一人ひとりが自分と向き合い、やる気を高めてからスタートする。



【子ども】「生きる力」を高めるための素地力をつける。

【教師】子どもの自問を信じて待ち、子どもの育ちから学ぶ。

☆学力向上に向けて・・・本校の特色を最大限に活用し、学びの基盤としての読解力の向上を目指す。

「北相木小スタイルの読解力」構想図

北相木小スタイルの読解力

学びの力 →建物

☆めりはりある活動（授業改善）

学習のステージ（体験や経験の活用）→基礎

学びの土壌（体験や経験の蓄積）→土台

北相木小スタイルの読解力

イメージと言葉を常に結びつけながら表現できる力

学びの力・・・しっかりとした土台と基礎の上に立つ読解力の育成
・学習のねらいの明確化・多様な学習場面の設定・ICT活用などによる「できた！わかった！」が生まれる授業づくり（授業改善）

学習のステージ・・・蓄積させたスキルを活用できる場の設定

学びの土壌・・・花まる学習のプログラムを中心に、学校での活動全般にわたって言語活動の体験や経験を蓄積させていく場